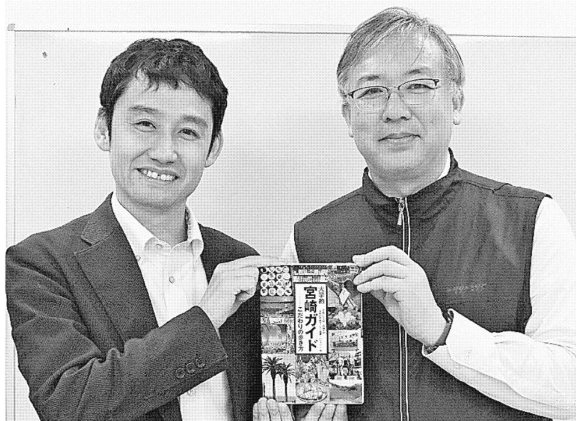


# 本県の魅力 専門生かし紹介 公立大、宮大教員がガイド本

大学連携による「大学的宮崎ガイド」を出版した宮崎公立大の倉真一准教授(右)と宮崎大の西和盛教授



宮崎公立大と宮崎大地域資源創成学部の教員計20人が本県の魅力を伝える「大学的宮崎ガイド こだわりの歩き方」が出版された。昭和堂(京都市)が手掛ける「大学的地域ガイド」シリーズ。伝統文化や農畜産業など専門分野を生かした研究対象を掘り下げつつ、一般書として分かりやすく本県の特徴を紹介している。

山間地域の伝統行事など地域史の考察をはじめ、在来作物の研究、本県の地方自治や交通インフラの分析など多岐にわたる。郷土かるたの札に記された言葉や絵の歴史の変遷、本県を舞台にした小説や

映画の解説など、若者が興味を持ちそうな題材も多い。

学者の視点から解説する同シリーズに興味を持った公立大の倉真一准教授＝社会学＝が発案。宮大同学部にも声かけし、3月末に発売された。宮大の取りまとめを担った同大学の西和盛教授＝農学＝は「教科書としての活用も期待。新しい宮崎を発見してほしい」。公立大が他大学と連携して出版するのは初めてといい、倉准教授は「大学の枠を越えた取り組みは刺激的だった。プロジェクトを次になげたい」と話している。

「大学的宮崎ガイド」は2750円。(中村和彦)